

令和2年5月28日

大阪信愛学院小学校

校長 岩熊 美奈子

学校における感染予防対策について

＝6月からの学校再開にむけて＝

1、児童の健康状態の把握と予防

- ・児童玄関で手指消毒を行います。(手指消毒液は、各教室にも常設しています。)
- ・登校後すぐに健康観察表を確認し、出席者の健康観察を行います。
- ・薬用ハンドソープ(殺菌・消毒)での手洗いを徹底します。
- ・可能な限り窓を開け、換気をよくします。
- ・原則、児童・教員とも常時マスクを着用します。(体育の授業等、熱中症などの健康被害が発生する可能性が高いと判断した場合はマスクを外すこともあります。その際は、換気や児童間の距離に配慮します。)
- ・教室やトイレなど児童が利用する場所のうち、児童がよく手を触れる場所(机、椅子、ドアノブ、手すり、スイッチなど)は、一日に一回以上消毒液を用いて清拭します。

2、授業での対応

感染リスクが高い学習活動として、「近距離で一斉に大きな声で話す活動(各教科)」「室内の近距離で行う合唱や管楽器(リコーダーや鍵盤ハーモニカ)の演奏(音楽)」「調理実習(家庭科)」「密集する運動や近距離で組み合ったり接触したりする運動(体育)」などが挙げられています。学習内容は、地域の感染状況のレベルにより慎重に検討します。

実施する際は、以下のことに留意します。

- ・「接触」「近距離での活動」「向かい合っでの発声」を極力避けます。
- ・一定の距離を保ち、同じ方向を向くようにし、回数や時間などを絞ります。
- ・できるだけ個人の教材教具を使用し、児童同士の貸し借りはしません。
- ・器具や用具を共用で使用する場合は、使用前後の消毒や手洗いをを行います。

3、スクールバスの対策

- ・運行前に車内に抗菌剤を散布します。
- ・抗菌・消臭スプレーを必要に応じて車内散布します。
- ・乗務員は手指を消毒し、マスクを着用します。
- ・利用者の状況に配慮しつつ、定期的に窓を開け換気を行います。
- ・車内でもマスク着用で、会話はしないよう指導します。(ご家庭でもお声がけをお願いします。)

4、熱中症対策

感染症予防として、窓を開けて換気をするため、冷房が十分に効かないことが考えられます。また、現在、校内のウォータークーラーを使用禁止にしています。

- ・必要に応じて「冷え冷えタオル」「ひんやりタオル」などを首に巻くことも可能とします。(貼るタイプは不可。)
- ・水筒(中身はお茶のみ)は毎日必ずお持ちください。気温の上昇や体調等により、水筒だけでは足りないと思われる場合は、ペットボトルのお茶やイオン飲料(ポカリスエットやアクエリアス)を合わせて持参しても構いません。(ジュースや炭酸水・フレーバーウォーターの持参は不可。)

5、お願い

- ・毎朝検温し、健康観察表に健康状態を記入し、必ずお持ちください。発熱や風邪などの症状がある場合は、登校を見合わせてください。
※新しい健康観察表をお渡しします。6月からは登校しない日も含めて毎朝体温を測り、健康観察の結果を記録し、保護者サインの上、登校する日は必ずお持ちください。
- ・感染症対策用の持ち物として、清潔なハンカチ・ティッシュ、マスク、マスクケースをお持ちください。上履き、給食の箸・ランチョンマット、水筒など、忘れ物のないよう気をつけてください。
※抗菌のマスクケースを小学校教育会の原田会長様よりいただきました。本日配布させていただきます。(1年生は入学の集いでお渡しする予定です。)学校でお使いの場合は、必ず記名の上、お持ちください。
- ・外出の自粛で体力が低下していることも考えられます。また、久しぶりの登校で気持ちが高ぶり、子ども自身では気が付かないこともありますので体調の変化に注視してください。
- ・公共交通機関を利用する場合は、マスクを着用し、つり革や手すりに触れた手で顔をさわらないよう、家庭でもご指導ください。路線によって混雑する時間帯が異なりますが、混雑を避けるため、遅れる場合は事前に学校までご連絡をお願いします。